

科目	ゼミナールⅣ(H)	担当	鈴木 愛一郎	履修学年	4年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

ゼミナールⅢの継続で卒論の完成に向けて指導する。必要に応じて、研究方法、論文の構成などについて指導する。卒論がメイン・テーマではあるが、ゼミナールであることのメリットを活かす意味で、必要に応じて資格取得や就職活動についてのアドバイスなども個別に行う。

【履修注意】

あらゆる場面、状況で形式より内容を重視する。欠席しないこと。

【評価方法】

研究に対する自主性を特に重視する。なお、試験は実施しない。出席(40%)、発表(30%)、発言・コメント(30%)無断欠席は6回で不合格。20分以上の遅刻は欠席扱い。20分までの遅刻を2回することで欠席1回とカウントする。

【試験について】

筆記試験は実施しない。

【予習・復習】

受講者ごとに課題を課す。

【教科書】

購入教科書の指定はなし。

【参考書】

参考書の指定はなし。

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	オリエンテーション	ゼミのすすめかた、卒論の概要、目標設定
2	卒論指導	発想、ブレインストーミング、問題意識
3	卒論指導	形式と本質、データ分析、統計学
4	卒論指導	データ形式、MSエクセル・アクセス、定量情報・定性情報
5	卒論指導	グルーピング、図解、叙述
6	卒論指導	派生化、累積効果、イノベーション
7	卒論指導	収束と発散、成長と安定、トレードオフ
8	卒論指導	トップダウン・ボトムダウン、個と組織、量と質
9	卒論作成と指導	情報伝達、効果分析、フィードバック
10	卒論作成と指導	社会科学、経営学、経済学
11	卒論審査	キーワード、章立、配分
12	卒論審査	統一性、展開、部分と全体
13	卒論審査	独自性、専門性、発展性
14	卒論審査	説得力、表現力、データ活用力
15	卒論審査	仮説分析、首尾一貫性、創造性
16	まとめ	まとめ、展望、講評